

No 11/2

築地市場セリ人歴34年

『水野様御中』

TPP参加を基本的に反対します。

3月11日をきっかけに「普通の生活の大切さ、有難さを大きく感じとった日本国民」が大勢生まれたからです。即ち、その「普通の生活の礎」である第1次産業優先の国家・時代を樹立していく必要がある」と考えます。無論、共産国家でなく、「民主主義的・第1次産業優先国家樹立」です。即ち、安心安全なメカニズムによる水資源(W)、エネルギー(E)、食糧(F)の百分百自給自足出来る国造り、時代造り、地球造りです。持続的世界樹立の為の模範国家「日本」をつくる時です。WEFが肝要です。

TPP参加に關し、世界に向けて打って出るだけの材料は日本には少々ある。しかし、現状の日本国家体制・中味は満足できるものではなく、ましてや海外に見習ってもらえる対象ではない。確かに

No 14/2

米国にお世話になって来た歴史は事実であり、感謝し続けるのは当たり前である。しかし、発言力を持ってない八方美人政策の結果、受け身体質となり、食、エネルギーの輸入国家体質から逃がれられず、その為、多くの予備が残ったまま。しかし、守られて来たからこそ「人類の有り方」も学べて来た。米国の保護下に置かれた日本であつたればこそ育まれた人類幸福論を知恵と技術でまず日本国で実現する時だ。

新たなる国内の才1次産業救済政策や雇用対策が必要となり、それ以外にも稲作や日本文化・技術等の保護と更なる進化促進対策が必要となりますが、それでも「ギセイ者」は出る事でしょう。TPPに参加しても、不参加でも、いずれにせよ「ギセイ者」が生じるならば将来夢のある国造りを選択するべき。即ち、WEFの才1次産業優先国造り)に向かい、その為には勇気をもってTPPは不参加であるべき。